

平成29年度 第3回 東京都北区バリアフリー基本構想策定協議会 議事要旨

時	平成29年11月14日(火) 午後6時00分～午後8時00分
場所	北とぴあ 15階 ペカサスホール
出席者	<p>[委員] (敬称略・順不同) ※別紙出席委員名簿参照 高橋儀平、菅原麻衣子、野口祐子、井上良子、田中淳子、小田政利、熊澤真砂子、印南美和子 (代理：大八木剛)、吉田耕一、丹野克哉、誉田加奈子、花山明弘、高岡和宏、河奈正道、齋藤邦彦、尾花秀雄、笠間雅弘、谷崎馨一(代理：浅井琢也)、筒井久子、菊池誠樹、田中英行 (代理：菊池立身)、長橋利幸、鎌田英美、渡邊涼、佐藤信夫(代理：山上雅則)、石本昇平、佐野正徳、林秀樹、土田信夫、塩ノ谷浩司、木津和久(代理：階上誠)、生越啓史(代理：小林直貴)、野澤正幸</p> <p>[事務局] 北区まちづくり部都市計画課：寺田課長、杉戸主査、金沢主事</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 出席委員報告 6 資料の確認 7 会長・副会長のあいさつ 8 傍聴人の確認 9 議題 (1) 北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】(素案)の検討 (2) 赤羽地区の特定事業計画の検討状況の報告 (3) その他(人的対応とところのバリアフリーの取組について) 10 閉会
資料	<ul style="list-style-type: none"> ●次第 ●席次表 ●北区バリアフリー基本構想策定協議会 委員名簿 (資料1) 北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】(素案) (資料2) 赤羽地区の特定事業計画の検討状況 (資料3) 保護者・生徒ヒアリング結果のまとめ (参考資料1) 対応方針抜粋版 (参考資料2) 特定事業計画【赤羽地区】(案)抜粋版 (追加資料1) お寄せいただいた意見の一部ご紹介 (追加資料2) 特定事業追加分 (その他) 発達障害者のトイレの困りごとセミナーリーフレット

要旨

1. 開会

- (1) 事務局あいさつ
- (2) 委員紹介
- (3) 事務局紹介
- (4) 出席委員報告：30名/40名（事務局より30名の委員が出席しており、設置要綱に基づき、定足数を満たしていることを確認。出席委員確認後に3名出席。）
- (5) 資料の確認
- (6) 会長・副会長のあいさつ
- (7) 傍聴人の確認
 - ・傍聴希望者数が1名であることを、会長に報告

9. 議題

(1) 北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】(素案)の検討

●事務局より資料1、参考資料1説明

- 会 長：ご質問、ご意見をいただきたいと思います。ホームドアと可動式ホーム柵は別のものでしょうか。後ほど表現を確認していただきたいと思います。
- 委 員：素案の内容を全部は読み切れていませんが、視覚障害者誘導用ブロックが随分整備されてきていると感じる中で、音響式信号機はまだ少ないので今後増えてくるといいと思っています。
- 事 務 局：交通安全特定事業は調整中で資料1でも未掲載となっている部分ですので、追ってお示しできると思います。
- 委 員：音響式信号機の設置については順次進めていくものですが、住宅地などでは騒音への苦情も来るため、個別に要望を聞きながら24時間運用とするか、時間を決めたものとするか等を調整していきます。基本的には設置推進の方向で検討していくものです。
- 委 員：バスの利用ルールについて、大きなベビーカーはたたんでください、などと書いてあるのを見ますが、双子用のベビーカーなど、とてもたたむのは無理という状況もあります。妊娠しているお母さんがベビーカーを使っている場合などもあります。また、ベビーカーに似た子ども用の車いすを使用している人もいます。障害の有無にかかわらず、一律に大型ベビーカーはたたんでくださいという運用は問題だと感じています。また、ストレッチャータイプの車いすを使用している人も日々公共交通を使うという感覚で、マナーへの対応を考えてほしいと思います。特定事業の中に砂利道対応の車いすの貸出というものがありますが、これを利用できる障害者ばかりではないということも理解していただきたいです。
- 委 員：他にも同様のご意見はいただいており、善処したいと考えています。物理的に乗車できないという状況でない限り、乗務員の指導を徹底して対応していく方針です。他のお客様で混雑している場合、対応が難しいことがあり、物理的な制約があることはご理解いただければと思います。接遇面の指導はしっかりと、できるだけ対応できるよう努めていきます。
- 会 長：物理的制約は将来にわたって解消できないものかどうかという面も含めて、事業の中

でご検討いただければと思います。

委員：資料1の25ページにある福祉タクシー・ユニバーサルデザインタクシーについて、素案では川崎の例を挙げていますが、北区での状況はいかがでしょうか。だんだん介助者も車の運転ができなくなってきて、移動に車を利用したいという人の中には、こういった車両でないと利用できない人がいます。福祉タクシーの取り合いになってしまう状況もあり、ぜひ導入を促進してほしいと期待しています。

事務局：北区内の状況は把握していませんが、赤羽の病院では受付にユニバーサルデザインタクシーを呼び出すための名刺が置いてあるのを見ました。街中で流している車両はなかなか見かけない状況ではあります。資料1の87、88ページではその他の事業としてタクシーに関する事業を設定しています。引き続きユニバーサルデザインタクシーの普及が進むものと思っています。

委員：追加資料2の9ページについて、電話等でも対応可能な貸し会議室の予約システムの導入という項目がありますが、長期の展望という設定になっています。長期にできるまで待つしかない、ということではないかと思いますので確認させてください。航空券などもネット対応が進んでいますが、電話窓口も残してあり障害者への対応はできる状況だと思えます。

事務局：地域振興課に確認します。

委員：私は2人の子連れで、上の子を歩かせてベビーカーを利用しているので、たたんでスムーズにバスに乗るのは難しく、バスに乗る日はベビーカーを諦めています。先ほどの意見にあったように、ベビーカーについては一律でない対応ができるとありがたいです。また、設定した特定事業について、今後「短期」が終わった段階で実施状況などは確認していくのでしょうか。

事務局：地区別構想策定の翌年に特定事業計画を作っていきます。今年度は赤羽地区の特定事業計画を作っています。進捗管理シートを使って年1回程度確認し、お示ししていきたいと考えています。

委員：前年度から協議会に参加しており、昨年度は身近な地区だったのでたくさん意見を出せましたが、滝野川地区は行くのに苦勞するため、日常的に利用できない状況であり、ほとんど利用していないことから意見が出しにくいです。上中里駅から滝野川会館への坂道が移動困難なので、何とかならないものかと思っています。西ヶ原駅から行ける施設については利用できますが、JRが最寄り駅だと、南北線の駅に乗り換えながら利用するのはハードルが高いです。「傾斜が多い」という表記はありますが、上中里駅周辺の坂道は大きな問題であり、課題点として表現していただいてもいいのではないかと思います。滝野川会館や旧古川庭園のパンフレットなどにもアクセス上の課題について記載してもらうことができないかと思います。JR駒込駅の低い方に住んでいる人はどちらに向かうにもかなりの勾配を超えないといけません。

会長：坂道の問題については、長期的な検討課題になるかと思っています。

事務局：資料1の17、18ページにある道路特定事業の課題のところにご指摘の内容を示しています。

- 委員：課題として示していただいていることはありがたいと思います。情報として、車いすでのアクセス方法について示すことができればよいと思います。私は自分で調べて西ヶ原駅からのルートなどを使っていますが、ひと工夫必要な地域なので、情報がもっとあると助かります。
- 会長：視覚障害者誘導用ブロックの情報の話題もありましたが、バリアの情報をどう区民に示していくかという課題はあると思います。バリアフリーの情報だけでなく、バリアの情報が重要になる人もいるということについて、今後検討していければと思います。
- 委員：豊島五丁目団地には難聴者の方が多く住んでいますが、団地の中に街灯が少ないという意見が出ています。低い位置の照明はあるが高い位置の照明が少ないそうです。
- 事務局：豊島五丁目団地はURで管理しているところなので、ご意見を伝えたいと思います。
- 委員：重箱の隅をつつくようですが、都営バスについてここ最近聞いている意見として、無料パスを使用している精神障害者が、パスを見せたがちゃんと確認できなかった際に恫喝するように怒鳴られて怖くなってしまい、バスを利用できなくなったという意見を立て続けに聞いたので報告します。そういった乗務員はごく一部の人だとは思いますが、気にかけていただきたいです。また、防災センターの事業で、AEDの通行に支障のない場所への移設が長期となっていますが、状況が理解しにくいです。短期でやるべき内容ではないかと感じました。
- 委員：怖い思いをさせてしまった方にはお詫び申し上げます。ご指摘のような意見はまだまだ各地で頂戴しており、乗務員教育を徹底していきたいと考えております。かなり改善されてきているようですが、一人でもいれば誰かが出歩くのを控えるようになってしまいますので、改めて指導を徹底してまいります。
- 委員：まちあるき点検でも感じましたが、知的障害者が地域で生活していく中で、知的障害者は視覚優位の特徴があり、文章よりも見ただ目で判断できるものももっとできてくるといいと感じています。また、板橋駅の乗降客が増えてきている中で、ホームドアは設置の予定があるのでしょうか。身体障害があり通所をしている方から、移動が怖いという意見を聞いています。
- 会長：資料1の41ページにある特定事業としては、内方線付き点状ブロックの設置となっていますが、いかがでしょうか。
- 委員：板橋駅についてはホームドアの設置はまだ予定に入っていません。山手線や京浜東北線、その他東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での利用が想定される路線を優先して設置を予定しています。その他の駅については優先順位を検討しているところです。
- 会長：ホームドアの設置については、一都三県の首長から要望を出すという話もありますので、ぜひ頑張ってください。
- 副会長：板橋駅だけ弱視者に配慮した券売機の設置という事業がありますが、なぜ板橋駅だけこのような事業が設定されたのか教えてください。
- 事務局：まちあるき点検の中で出た意見で、券売機の画面は背景が黒の方が見やすいので色を反転できるとよいというものがあり、検討依頼事項に示したものの回答を事業に位

置付けていただいたものになります。

- 会 長 : 他でも券売機としては同じだと思いますが、同様の意見はなかったのでしょうか。
- 事 務 局 : 他でも車いすでも近づきやすい券売機などの意見は出ています。このあたりの表記については検討して統一を図っていきたいと思います。
- 副 会 長 : 他の駅とのバランスも考える必要があると思います。
- 会 長 : 意見に直接対応を求めたものだと思いますが、メーカーの方でそういった商品が出ないと対応できないかと思います。
- 委 員 : 人的対応・こころのバリアフリーについて各事業者が対応していただいている状況はあると思いますが、「障害のある人がアクセスしやすい経路」について記載していくことを具体的な取り組みとして明記していくことができると、事業者が取り組むべきこととしてわかりやすいのではないのでしょうか。それぞれがアクセスのしやすさを示すことは有効だと感じました。
- 会 長 : ぜひ盛り込みましょう。すべての施設で対応できるわけではないと思いますが、事務局でも検討いただければと思います。
- 委 員 : 車いすで通勤している方や大学に通う方もいますが、車いすやバギーで乗車できない状況とはどういう状況なのでしょう。普通に順番待ちをしても乗せてもらえない状況は理解できません。
- 委 員 : 「状況により」というのは物理的な条件が大きいです。車内で転回ができないストレッチャータイプの車いすで物理的に乗降できない場合や、運転手が安全性を確保することができない場合などについては乗車できないことがあります。技術開発に伴い、車両の改善が進めば対応できることも増えてくると思います。
- 委 員 : 転回できる車いすであれば乗れるという判断でよろしいのでしょうか。
- 委 員 : 乗客が多い場合もあるため、必ず乗れるかと言われると約束できません。
- 会 長 : 車いすの種別の問題か、混雑の問題か、明確に区別されることが重要です。公平性の観点から利用者にわかるように示す必要があると思います。
- 委 員 : 新型車両という話がありますが、新しいバスほど乗りづらくなっている状況があります。車いす単独でなく、他の乗客がいる中で動線がどうなるか検証してほしいです。他にも乗客がいると本当に乗りづらいです。シルバー席の座席で足を出して座っている乗客に足を引っ込めてもらうように声掛けしてほしいです。車いすで踏んでしまう事故を防げるよう協力していただければと思います。
- 会 長 : 国のレベルで検討しなければいけない問題もあると思いますので、私の方でも持ち帰って伝えていきたいと思います。

(2) 赤羽地区の特定事業計画の検討状況の報告

●事務局より資料2、参考資料2説明

- 会 長 : 進捗状況の管理については、今後の協議会で適宜確認していければと思います。

(3) その他（人的対応とこころのバリアフリーの取組について）

●事務局より資料3、追加資料1説明

●事務局よりベビーカーとバギー（子ども用車いす）の違いについて見本を用いて紹介

事務局：前回の意見交換会で話題に挙がったベビーカーとバギーの違いについて、確認していただけるようにと思い実物を用意しました。バギーはベビーカーと比べると結構重いです。また、ベビーカーはすぐ畳めますが、バギーは畳むのに手間がかかり、畳んでもかなり大きい状態です。

副会長：畳んで持ち運べるものなのでしょうか。

委員：バギーを畳むのは車に乗せるときだけです。子どもが歩けないから乗せているのに、畳んだら子どもはどうするのでしょうか。バギーは畳んで持ち運ぶことは想定しておらず、補装具であり、ベビーカーとは全く違うものとして認識してほしいです。車いすとして認識してよいと思います。

事務局：普及啓発のために、子ども用車いすのマークを民間が作っています。子ども用車いすとベビーカーを見分ける違いとして、角度を変えられる点や、ヘッドレスト、体勢を保持するベルトがある点などが挙げられます。

会長：特別支援学校へのアンケートやヒアリングについて、こういう取り組みは他のバリアフリー基本構想策定協議会ではないと思いますが、他に事例をご存知でしょうか。

委員：ないと思います。

会長：画期的な取り組みと思いますので、全国に向けて発信できるといいと思います。社会福祉協議会が発信することとはまた違うことができるかもしれませんので、期待したいです。

委員：アンケートの結果をまとめてリーフレットを作成していただけるとの話ですが、配布対象は誰になるのでしょうか。

事務局：初めに区内の特別支援学校3校の保護者宛てにフィードバックとして配布したいと思います。アンケートに回答いただけなかった人も含めて全員を想定しています。また、ホームページでご紹介できると思います。配布先についてアドバイスをいただければと思います。

委員：当事者へのアンケートを行い、基本構想に活かしていく中で、いろいろな人に見ただけでもいいと思います。ホームページや公共施設でだれでも見られるようにしたいと思いますがいかがでしょうか。

事務局：前向きに検討したいと思います。

会長：自治会等で回覧などもできるのではないのでしょうか。

副会長：配布先として、できれば広く知っていただきたいと思いますが、小中学校の総合学習の時間で対象となる学年に配布するなどでもできると思います。伝えられる場を検討できればと思います。

会長：そのようにしていきましょう。よろしくお願いいたします。

3. 閉会

事務局：今後のスケジュールについて、12月26日から1月30日までパブリックコメントを実施します。また、なでしこ小学校等複合施設の点検会の日程も決まり次第周知します。2月の第4回協議会についても決まり次第周知します。

会長：素案について若干の修正があると思いますが、ご発言を反映できるところは反映して

いただくということをご了解いただきたいと思います。施設点検会への参加は任意ですか。

事務局：任意としますが、皆様にお声かけさせていただきます。